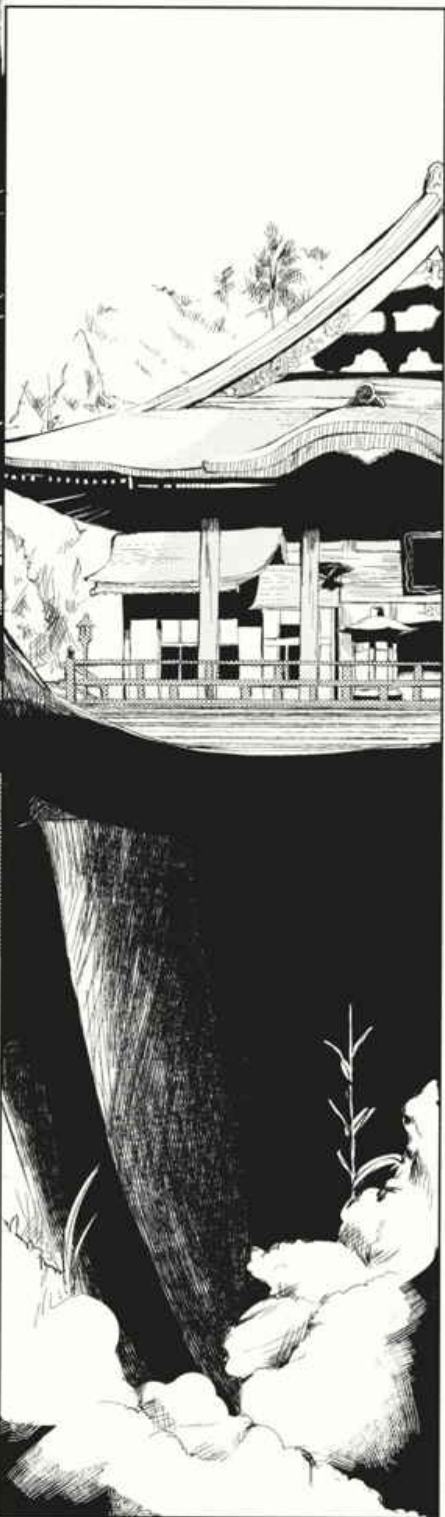




拘束具
沈む

R-18
for adult

CREATED BY SUIKETSUYM
TOHO PROJECT FANBOOK





そういえば

ああ……

私からぬえが
離れていったのは

いつからかしら



前までは、

ずいぶんムラサに
懐いてたね



まあ、私には
元々生憎気だった
気もするけど

……そう……

昔は……もっと





いわゆる
反抗期
なんじゃない？



ていうか

環境も
あれから変わったし……

ま、仕方ないんじや
ないですかね


——あのとき、
地底から船を出したとき

彼女はもう、
私を、


必要として
いないのだと
思っていた



退治され、



ぬえが私の
手元に来たあとも、




彼女の存在は
あれもこれもと
情報を喰らつて、

私達と比べものに
ならないほど


大きくなっていく。

あんなに
尻尾を振って
きていたぬえは、
距離を取るようにな
った

——孤独を
選ぶことに
したのだと、
思っていた。



私達には、
聖が必要だった——



燃料を片道ぶんだけ積んで、
聖輦船を動かした

……ぬえを置いて。

ああ、なんて、ひどいことを。



違う理由も
あったようだけど、

再会した彼女は
とても申し訳なさそうで、



置いていかないで、
という目をしていた

でも、



それでもやっぱり、
昔のように
抱きしめさせては
くれなかった





私だけを
見ていてほしいのに。

ここは、
地底と比べて
広すぎる。

愛しい聖を
はじめとして、

彼女を
うけいれるモノは
たくさんある

——もつと遠ざかる、

私が沈めたのに、

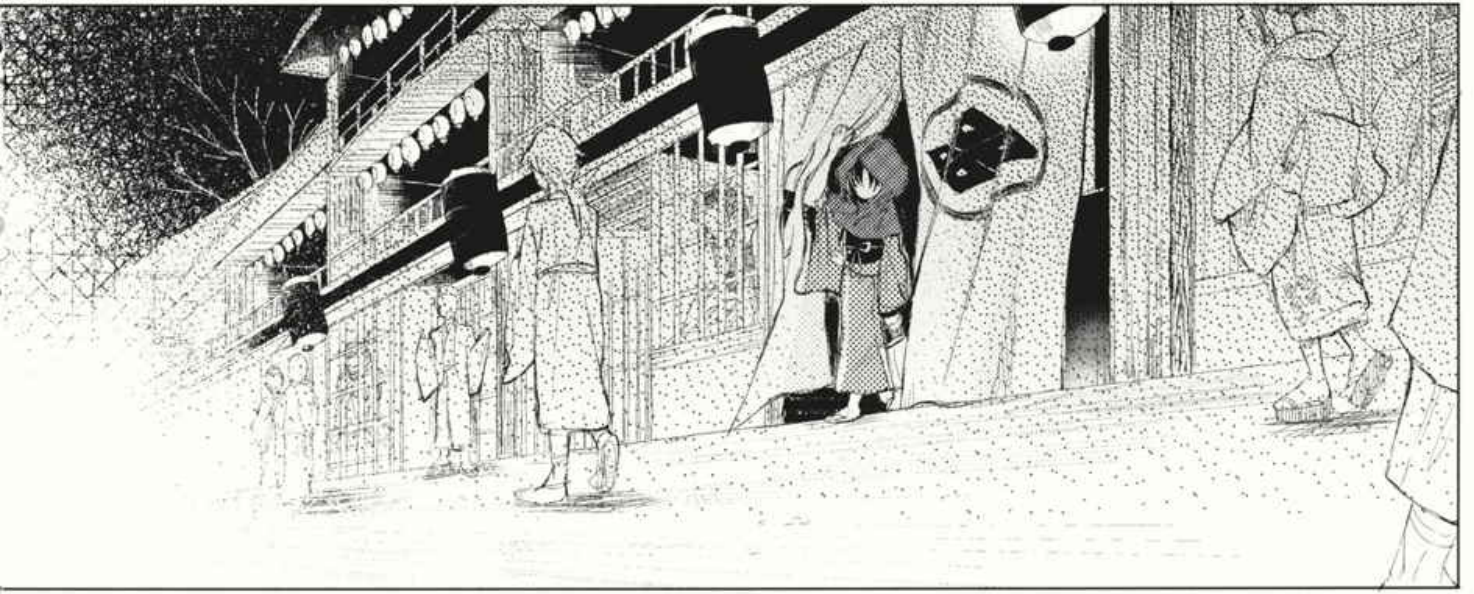
浮かんでいかないで、

ちゃんとここにいて、

——昔より、もつと深く沈めたいと

そう思った。





拘束具と沈む





——村紗水蜜は封獣ぬえを愛してける。
封獣ぬえは村紗水蜜に恋してける。



『恋に溺れる』



……たぶん

こゝ恋に恋してる
ってワラカ……?



そう、
私はあるイミ、

恋に溺れているんだ



苦しいの？

女の子みんなの
憧れだぜ

まあ、
苦しくは
ないだろうな
……だいたい



苦しくないのに
溺れるの？

そ、そういう表現
あるだろうが！



……
そうね



まあ、お前ら
妖怪とか動物とかは、
そういうのなみみだいだし
分からんだろうけど



わあー

こゝろ
交尾つてはあわ

交尾をして
子を成せばいいだけの
話でしょう
妖怪はそんな
必要もないから
交尾もよく分
からないけど



ええ、
よく分からない



恋かあ……



? 顔が赤いよ
ほ、ほんでもほりっ
もういいだろ
帰れ

普通の人間
魔理沙は恋が好きみたいだから、
少し訊ねてみたけど。

そんなに重要なものなんだ



—恋

なのかもしれない、
と思う

なんで
あんなことをして
しまったんだろう

私なんかを介抱してくれた
ムラサとその付き合いで
仲良くしてくれた一輪は、

私とはどこか距離がある
のが段々分かってきて、

……いや、私みたいな大妖
が一緒にいるような
存在じゃないんだ。

なのに。



抱きつきたく
なつたけどでも、

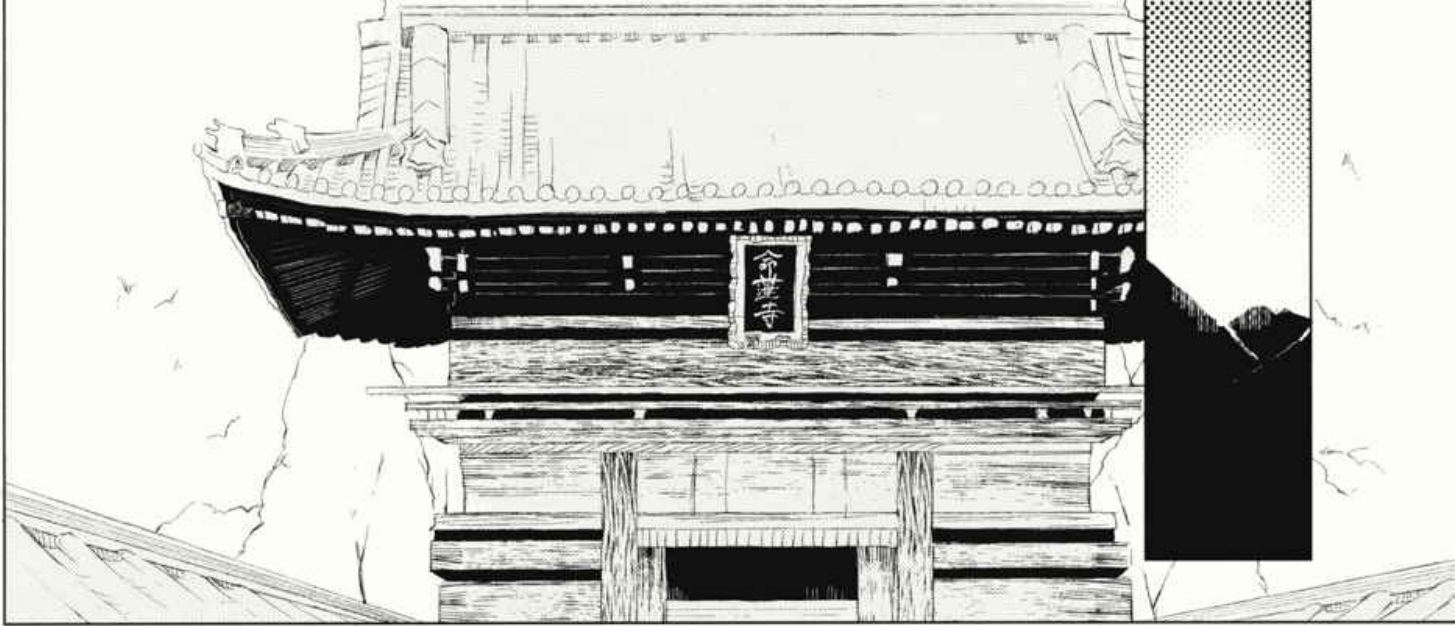


ムラサの顔を見ると
ほんとうに安心して



そんな資格は
もうなかつた

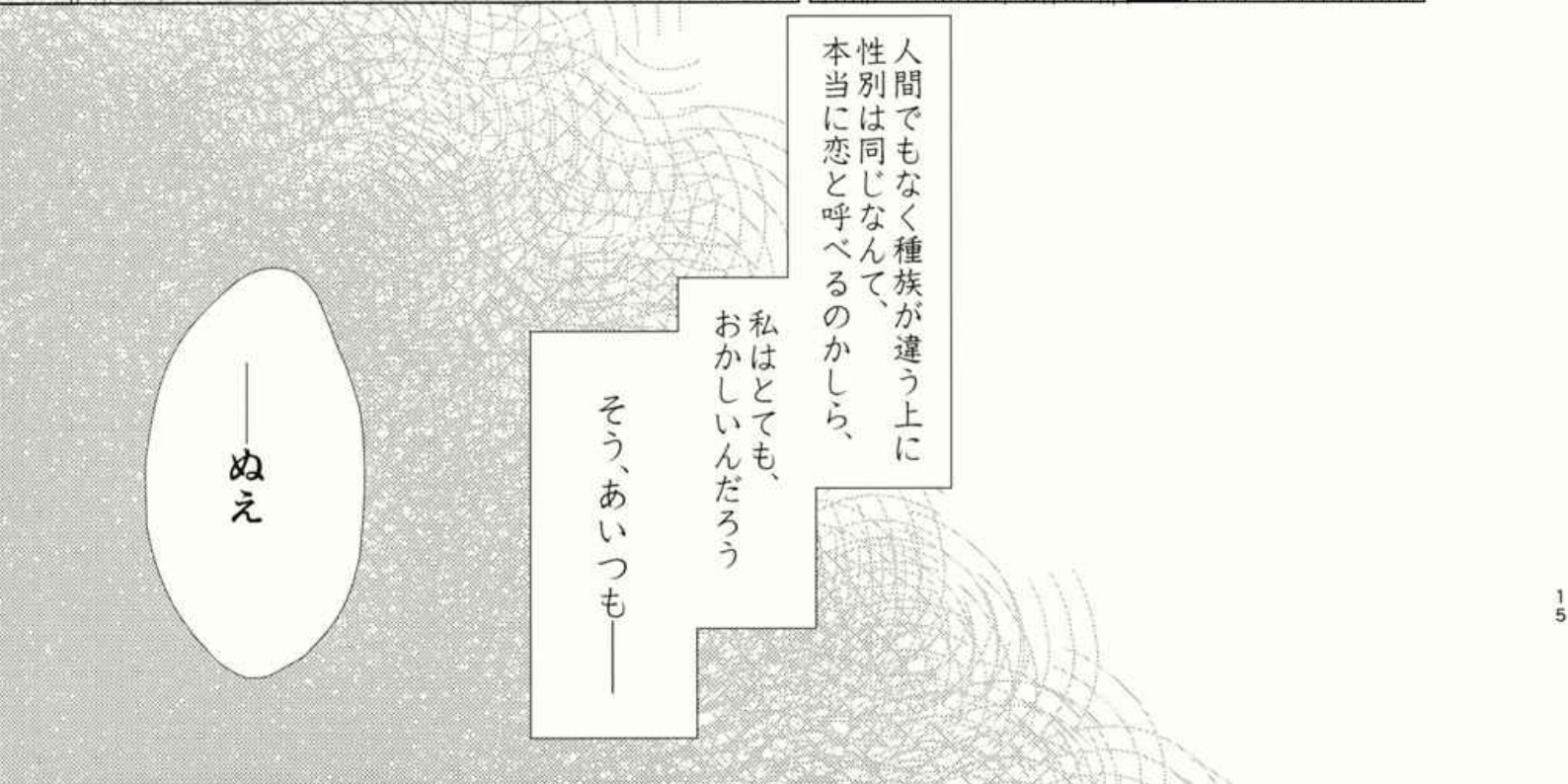




いつからかしら、
こんな気持ち
抱くようになったのは……



あいつのことを
考えると
ドキドキする
傍にいと
幸せになる



人間でもなく種族が違う上に
性別は同じなんて、
本当に恋と呼べるのかしら、

私はとても、
おかしいんだろう

そう、あいつも

ぬえ



寝る間も
惜しみたい
ぐらいの、ね



いえいえ、

ただ、ちよつと
お話があつて



そうね……
ちよつと悪い子に
なろうと思うの

今日から



……
怒られるんじゃ

白蓮に



でもぬえの
能力なら、

部屋の
明かりも、音も、
いつでも通り
でしよう？



日頃からお前が
一輪とかと騒いだり
してなかつたらね

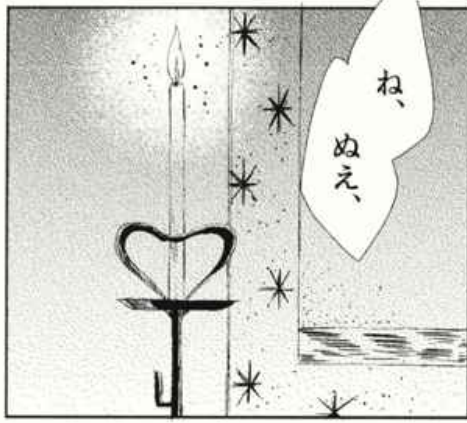
大丈夫だろうけど



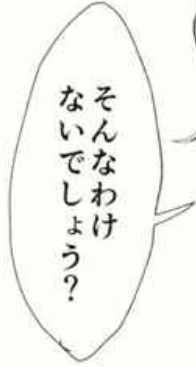
よかった

じゃあご飯のあと、
私の部屋に来てね？





ね、
ぬえ、



そんなわけ
ないでしょう?



セックス
しましょう



前のことじゃ、

なッ
な、なんて?

スタ



ど……
どうしたんだよ





本当に
無知なのね

この子は
違う世界に
介入するの
に慣れてないから

私が
教えたこと以外
あまり知らない

うあ
なに、これ

ずうと
私だけ見てほしい

セックス
っていうのはね

交尾みたいなもの
だと思って
くれればいいわ

こ、交尾って、
異性同士で
するんじゃない……

そんなこと
ないわ

子供はできないけど、
すごく気持ちよく
なれるのよ

あの、
服、
なんで、



んっ
あう

ずっと遺る
傷をつけた男は
羨ましいけど



ほんとに
綺麗な身体

や、やだ、
傷があるのに
……

それでも
含めて、よ



こんな
ツはあ
しらな、
ねえ、
なにこれツ、
むらさあ、
あん

むにゅっ
むにゅっ

こんなことは
されてない
でしょう？



やっ
やんツ、



あ
もぞ



よは
よかった
私だけのモノね……



ね、
ここ、どうかしら
はあッ
くっ

ぬえ

ふう
あんっ

はっ
ふ

びんっ

やつ

あっ
うあ、

そっそこ
変になっちゃう、
ふあ、
やめて、

おなかの下のほう、
ずきずきする？

はあ
あ、あつ、

下着、もう
びちよびちよね







明日も
明後日も、

ずっとずっと……

こうして
溺れさせ続けて
あげれば。



朝まで
かわいがってあげる

いつかきつと、
私なしでは生きていけない、
か弱く愛しい
私だけの愛玩動物になつてくれる。

私には報いが必要である。

私は、
ムラサの
あの表情が好きだった。



あの、
どこか遠くのものを見るような。
——否、今思い返すと、
遠すぎて見えもしないものを
想うような。



想うだけで——でも幸せそうだった。



距離はただの
隠し事だったと
やつと気付く
まで、彼女にも
そんな対象が
いるなんて。

そしてそれを私は、
もつと遠ざけようと
してしまつたから。

私には報いが必要である。

封獣ぬえしは
村紗水蜜が好きである。
村紗水蜜は
聖白蓮が好きである。

ムラサ達は
法界から帰るつもりは
なさそうだった。
と、魔理沙は言っていた。

私は必要のない存在なんだ。

毎日繰り返し返される
この行為は、
罰なのだ。



や
はずかし、



おしりでも
気持ちよく
なれるように
ならないとね
そのほうが
得でしょう？



大丈夫、

しばらくは
前も一緒に
弄ってあげるから



その内
後ろだけでも
……ね？

恥ずかしい顔も声も
見せたくない
聞かせたくない、



あ
ふ

私は、
受け容れる
必要がある

でもムラサが
望むなら、
報いなら、

はっ



抵抗もせず、
嬌声をあげる
ばかりの私は、
とても——無様だ。



舐めて



んう
やっ



ふん



私のことを
見てくれて



ムラサが
私のそばにいて



ふん



……セックスはいらない。



機に乗じて少しだけ
甘えられることが
うれしい。

ふん

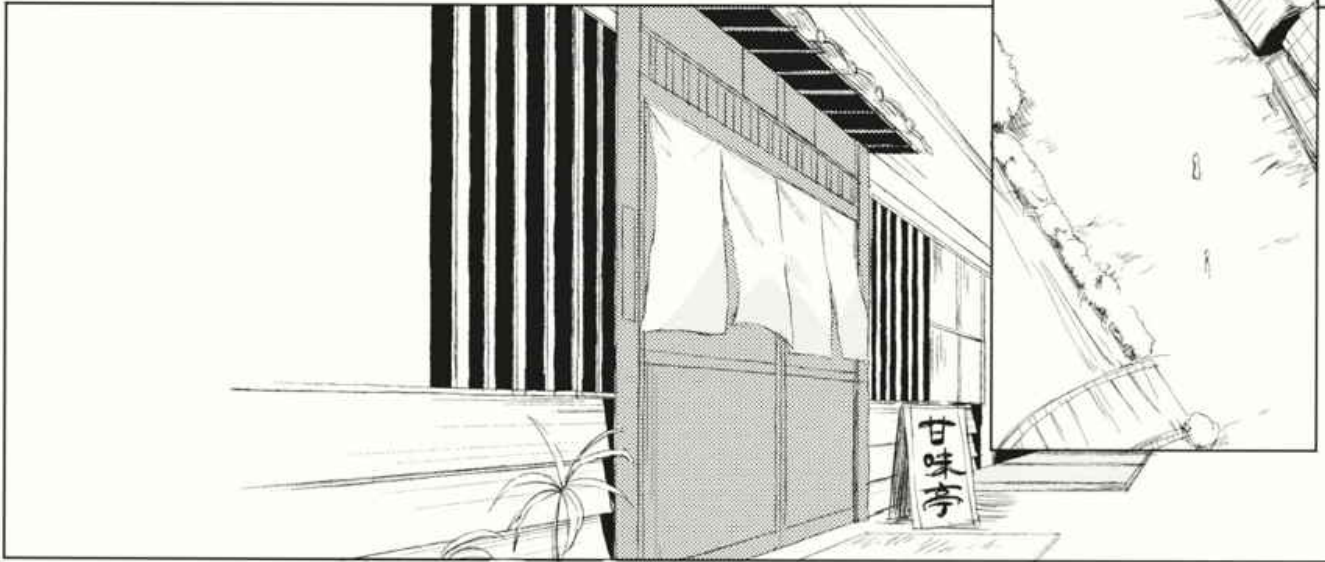


——ああ、
幸せなんて、
感じちやいけけないのに……



——全然、
甘えてくれない







メスくさく
なったよのう



そりゃ
もう!

メ
メスくさいって
なんだよ



わ、割らんで
よかったな



死ねっ

しかしお前
みたいなのでも
交尾はするんじやの



いや嘘じゃすまん

儂ぐらいしか
気付いとらんよ
たぶん



幻想郷中、あの鶴が
なにやら毎晩
しっぽりやつとるとい
うワサで持ちきり



死ね!!

胸は狸というし
儂らとなら
子を成せるかもな、
ふあっふあ



ムラサが男なら、
私も——



ムラ



……
いやいや
だから
種族が
違って

いや
そういう
問題でも
ない!



……あれは、
うまくいくとか
そういうのじゃない



踏み込みは
せんが

うまく
いっとる
のか?



……で



ああ、
甘えられない、
とか言うんじゃない

3800



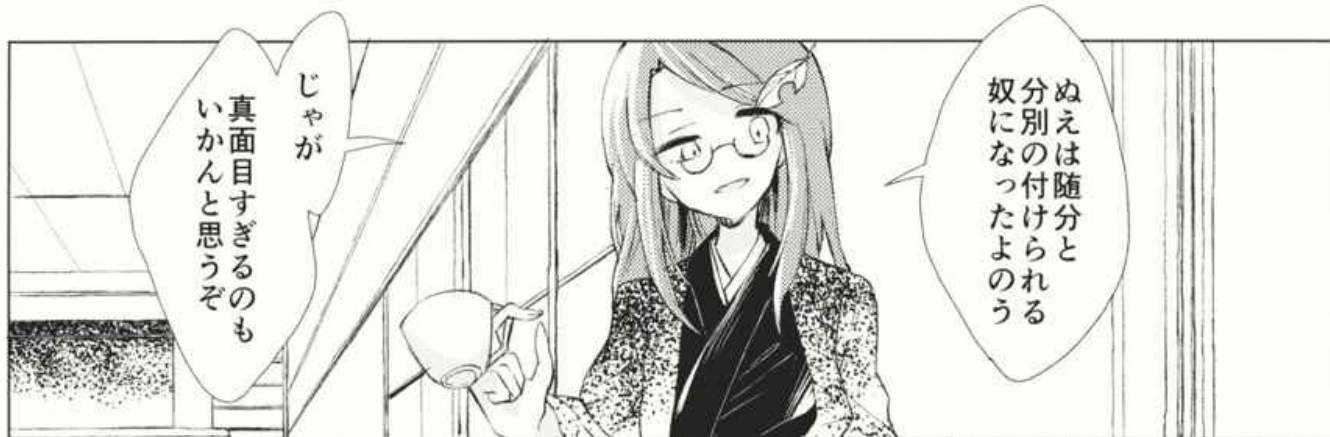
あ、あいつの
ことは、うん

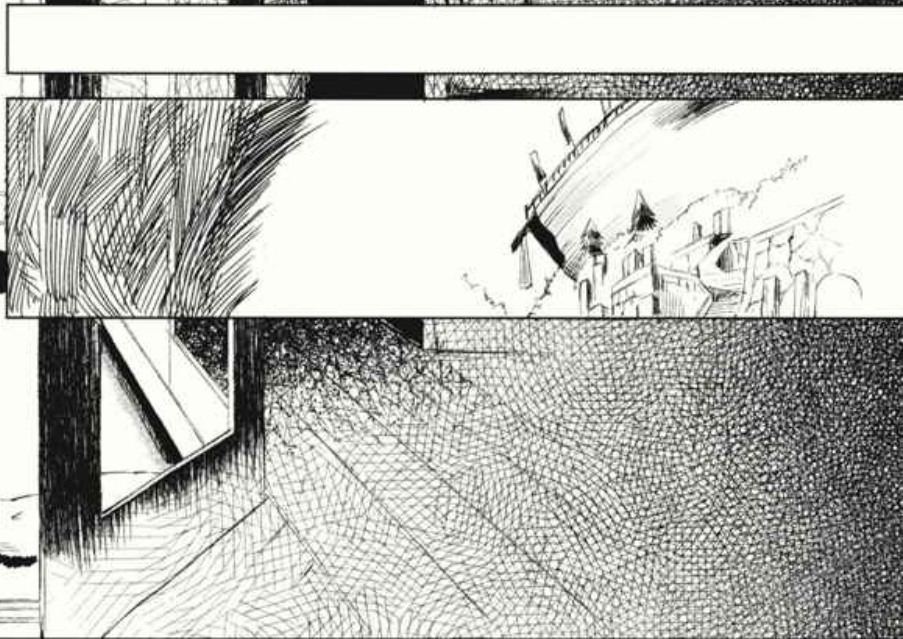
本当に、好き
なんだけど

……事情があつて、
その、存分に



……?
複雑そうじゃの





欲を消すのは
至難の業

仕方のないこと
ですわ、ムラサ



もちろん

聖は

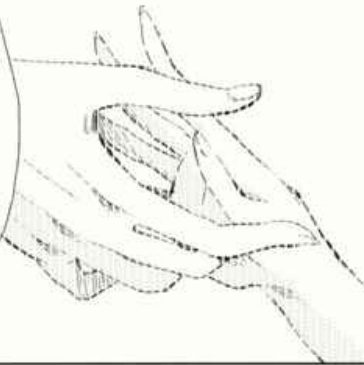
そんな悩みが
あったことが
ありますか



死への恐れ

生への執着

それが無ければ、
命蓮寺を
建てることも、
あなたを
すくうことも、
無かったわね



そしてその執着を
生んだのは

あの子
命蓮への執着



永遠に……
かなわない。

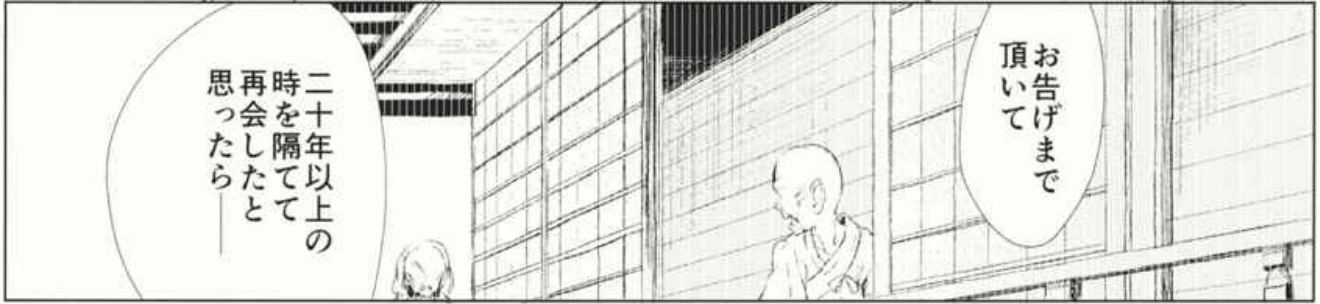
それでいい



……
弟様

本当に、
大切だったのでね

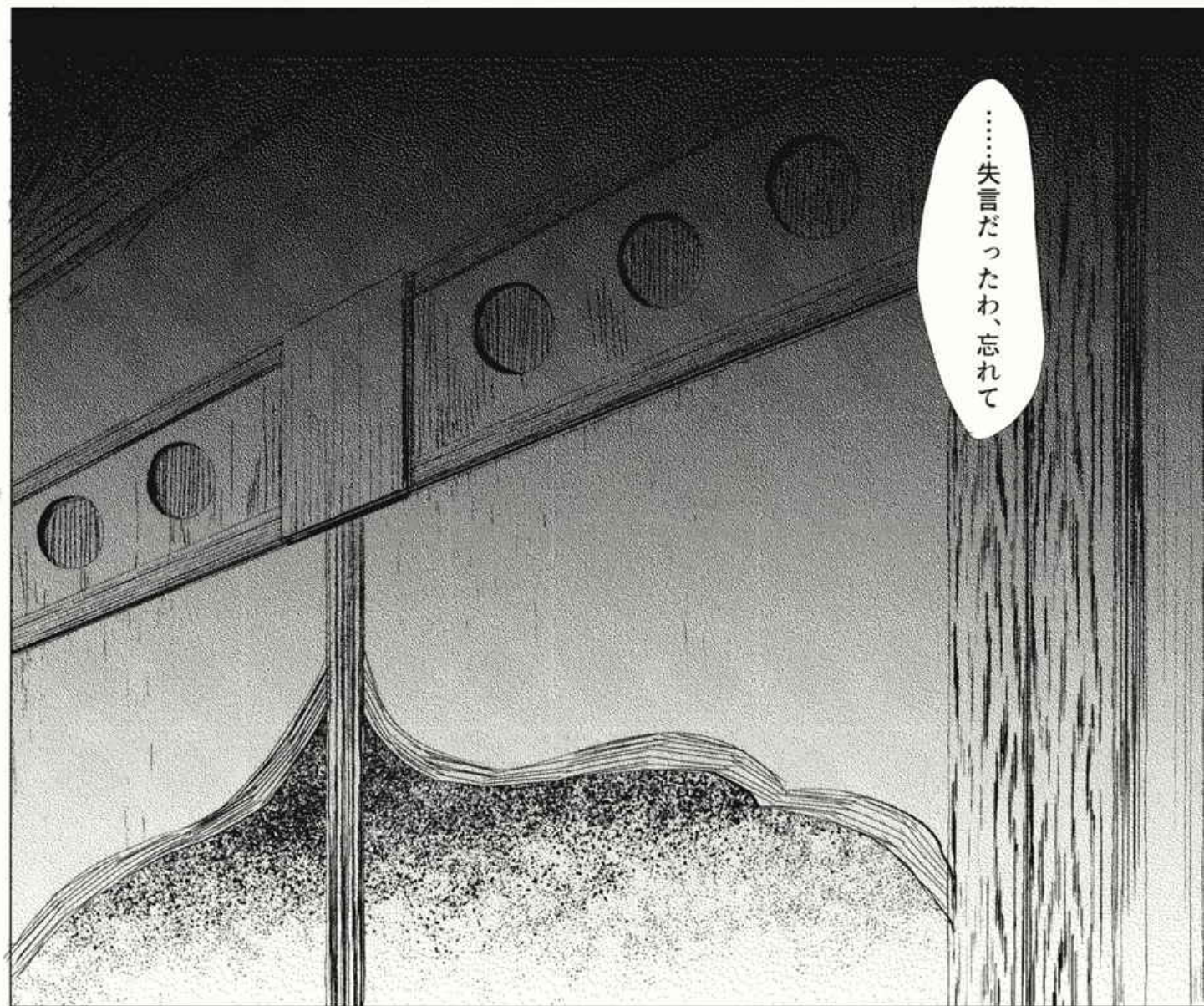








なくなってしまう前に、
鍵付きの籠に入れておくのが――



……失言だったわ、忘れて





鶴さんは
どこに旅行に
行っちゃったのよ

ずっと帰って
こないじゃない



旅行できるほど
広くはないだろう、
幻想郷は

地上暮らしの
虎さんと鼠さんと
違ってね、

こっちは
あの地底で
過ごしてたんです！

いや毎日が解放だわ

というか
探してる？

あれの力は便利だね

私には探せないみたいだ



一体何を
コソコソ
している
のやら……



ぬ、ぬえ先輩は

何か重大な事件に
巻き込まれたのでは……!!!





仲の良いムラサも
心配してないことだし、
きっと大丈夫でしょう



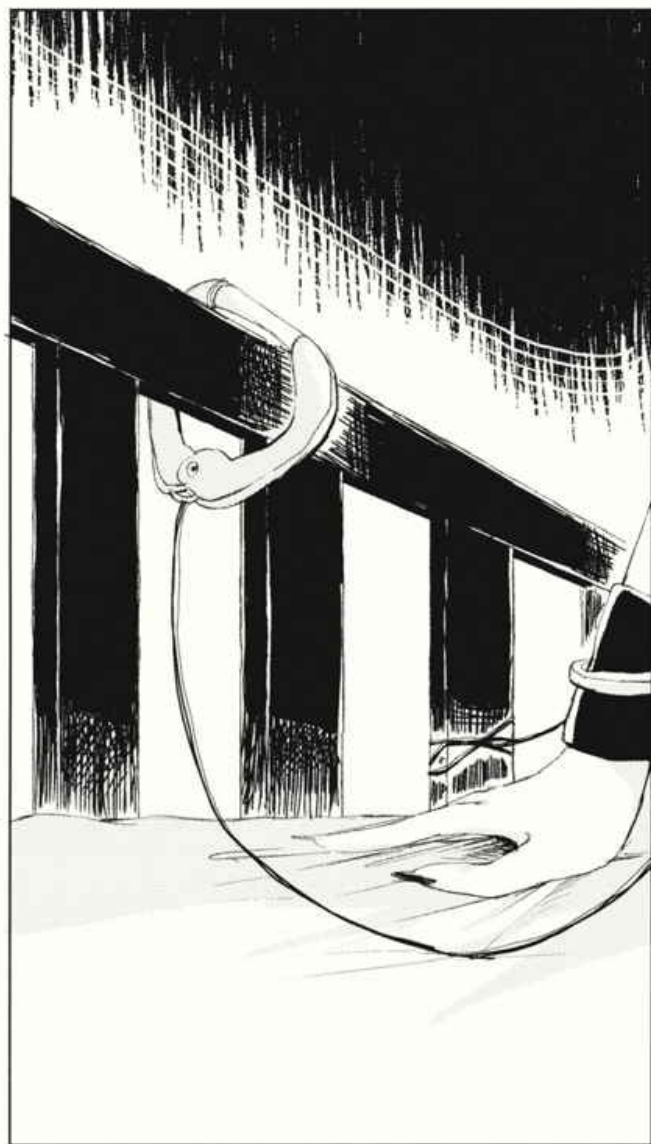
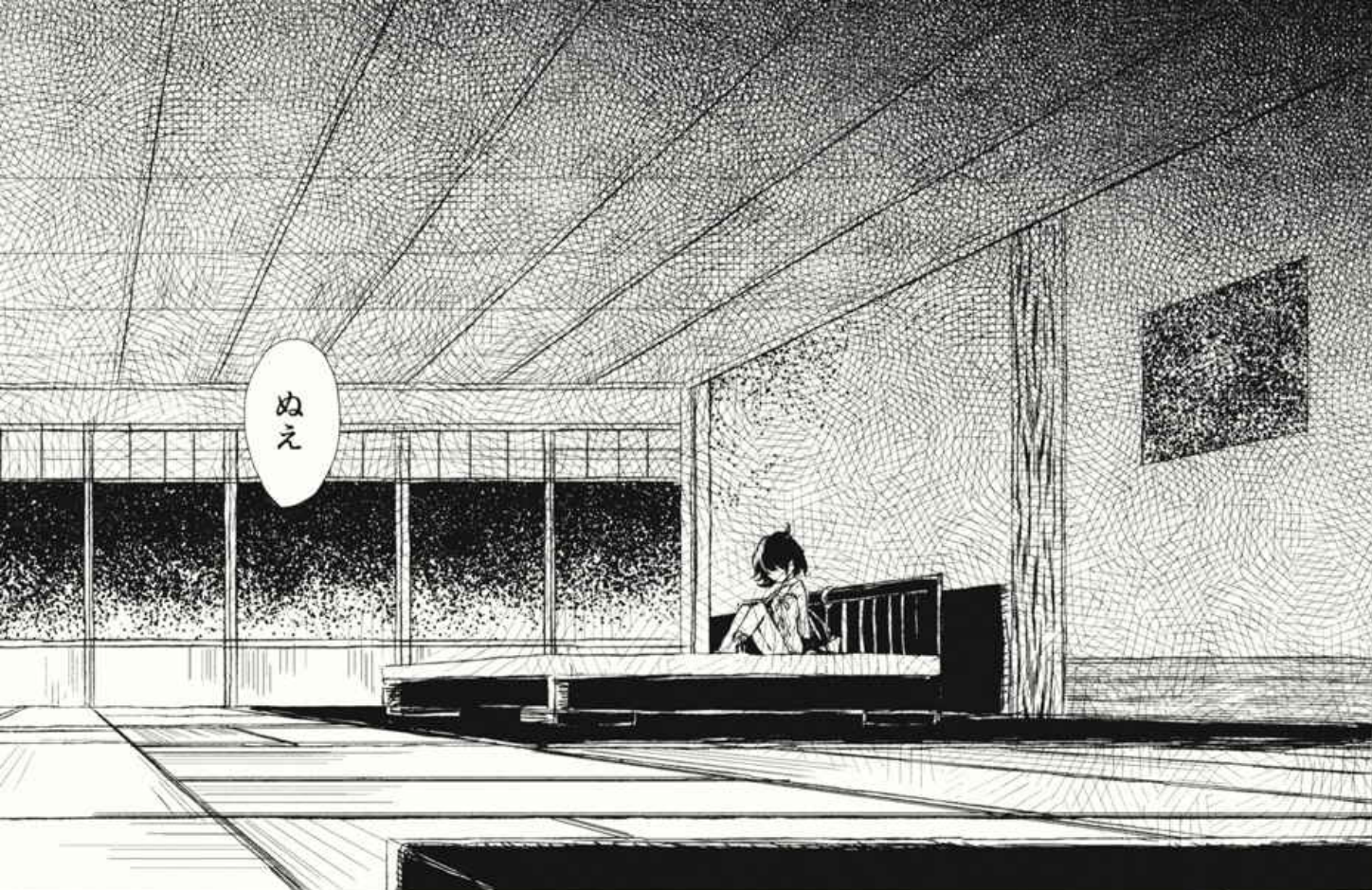
恋のお味は

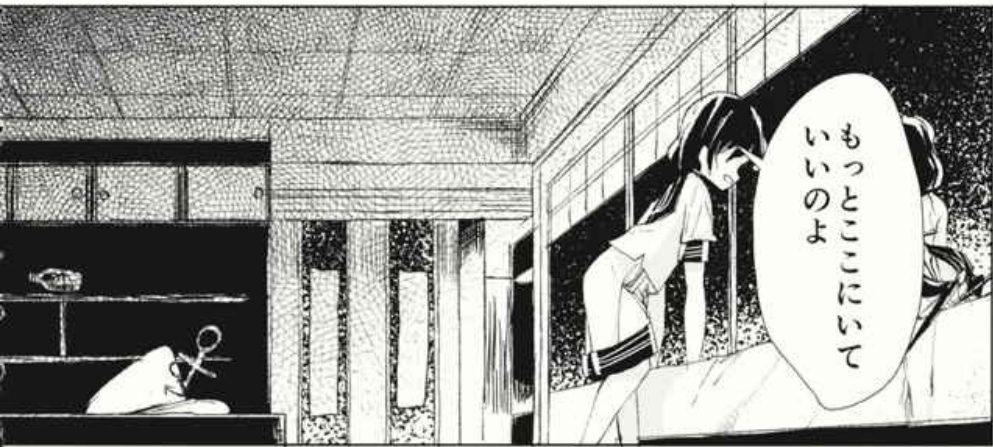
さうかござい



ただいま、







もっとここに立て
いいのよ



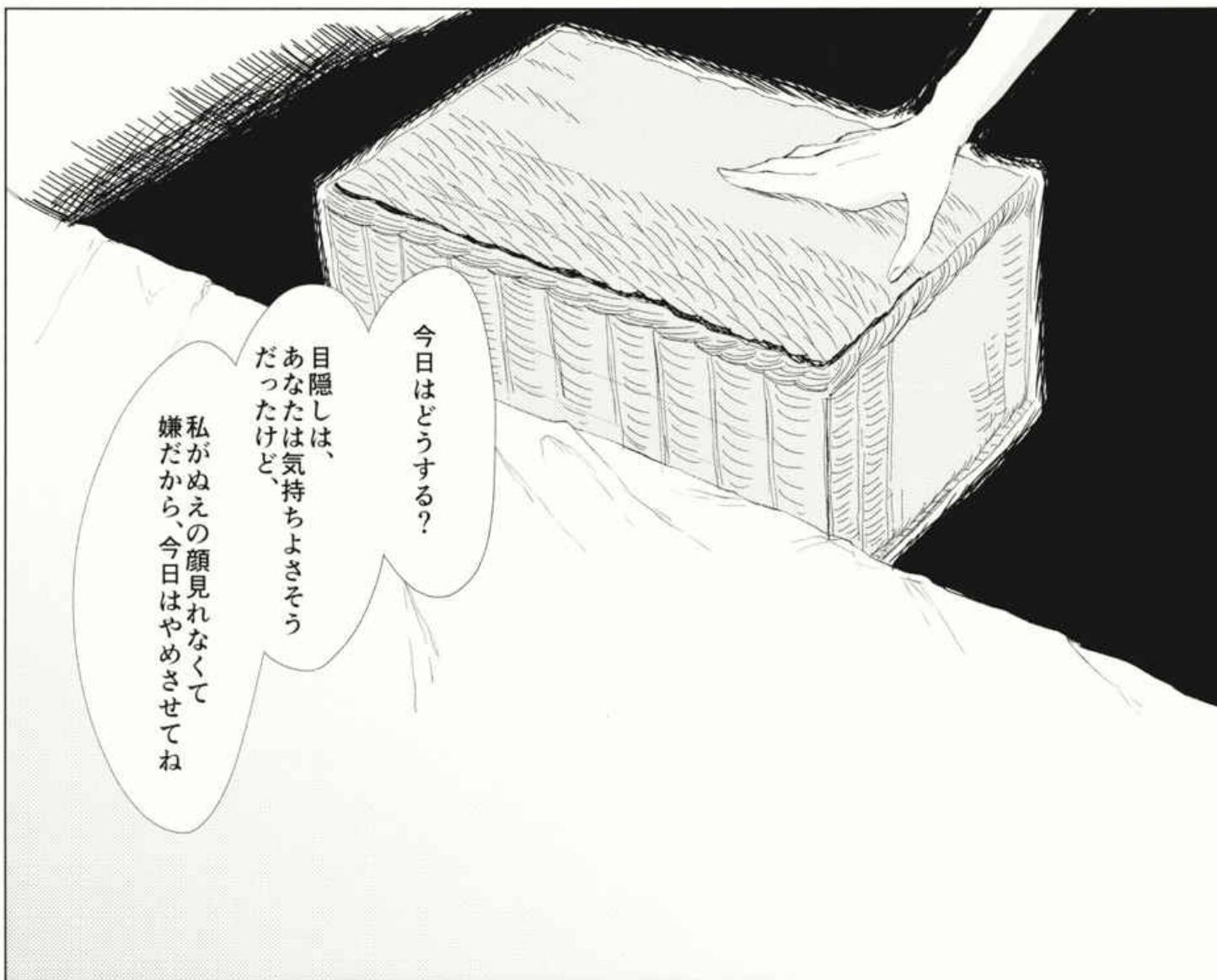
外のことは何も
気にしなくていい



——もうずっと
ここにいる気がする。

許して、なんて、
愚かなことは
言えないから。

飽きて捨てられる、
そのときまで。



今日はどうする？

目隠しは、
あなたは気持ちよさそう
だったけど、

私がぬえの顔見れなくて
嫌だから、今日はやめさせてね



もう息が
だいぶ荒いわね
ずっと
触りたかった
だろうけど……



っあ



ただのファッションとでも
思っているのかしら
ムラサが着けてくれた
首輪ならどうせ
壊さないんだろうけど
お前が考えてるより、
ずっと私は
弱ってるのよ……



ぬえは
いい子だから
何もしてない
わよね？



今日は獣らしく
なりましょうか

ほんとうに、妖怪が恋なんて、するものじゃないわ

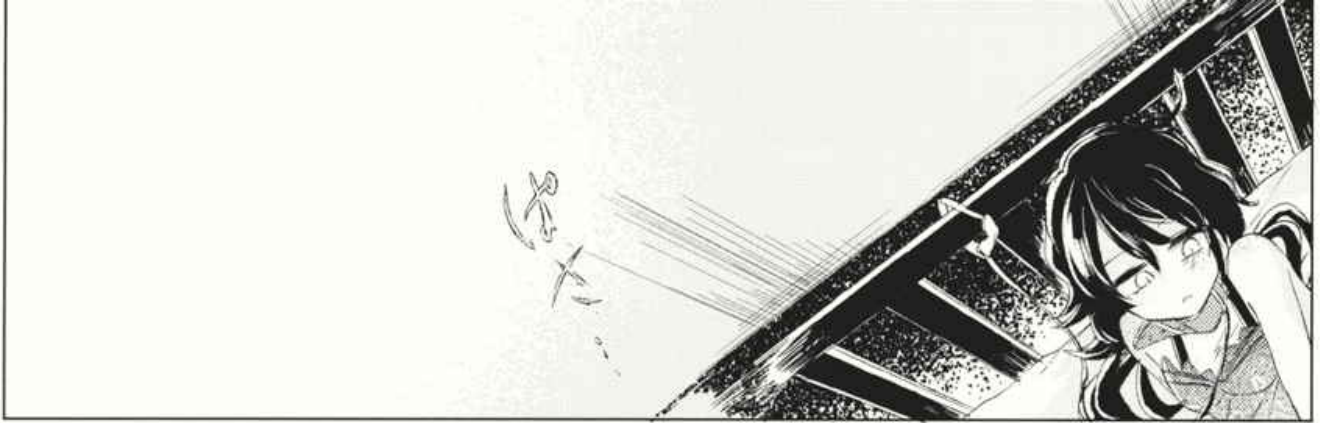


本当にかわいいわ、
私のペット













こんなに
嫌なはずなのに、

それをムラサも
望んでるのに、



こうやって細い指を、
冷たい舌を、柔らかい肌を、
ムラサを感じるのを
とても嬉しく思ってる
自分もいて。



私は――



最低だ。



——こんなベツト、
もういらなうだろなあ……

……
ごめんなさい、

……ぬえ、

ぬえ、
ねえ、

あなたは、
私のものに、
なうて、くれなうの？

……え



やっぱり
ひとりが好きなの？
私のこと
嫌いになっちゃったの？



受け容れてくれたの、
気持ちいいから
とかじゃなくて
……
怖いだけなのね



あなたなら
ずっと手元に来てくれる
と思ってたの、
でも、



む、
らさ



もう、
溺れてくれないの？

あろうことか
私から
突き放して
しまった、



元々私のことなんて
どうでもよくなっていたなら、
謝る必要なんて
なんで！

……ああ、そうね、
なにを謝るの……



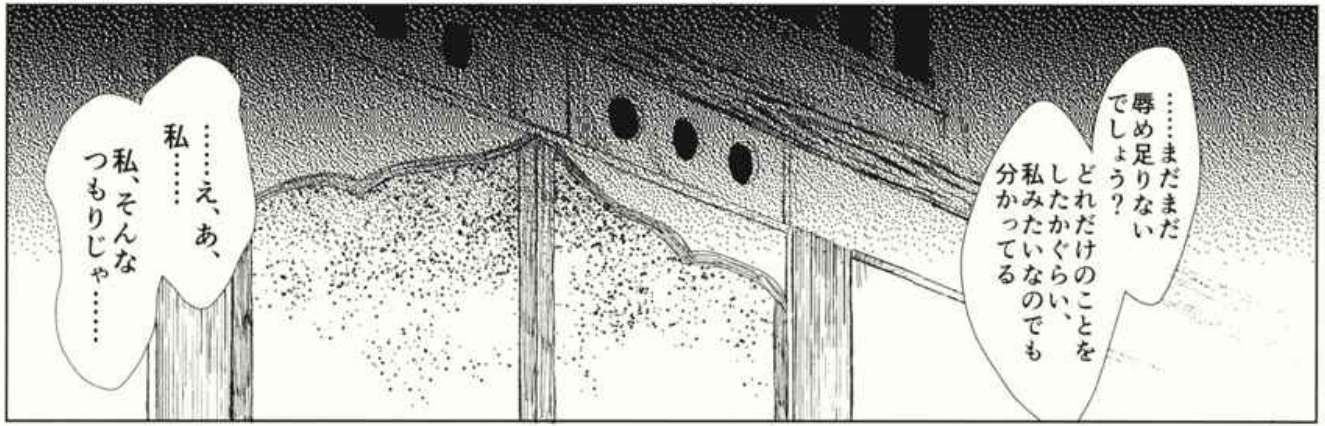
……なんで

ムラサが、



ごめん、
ごめんね、ぬえ





私……え、あ、
私……
私、そんな
つもりじゃ……

……まだまだ
辱め足りない
でしょう？
どれだけのことを
したかぐらい、
私みたいなのも
分かってる



私ならッ



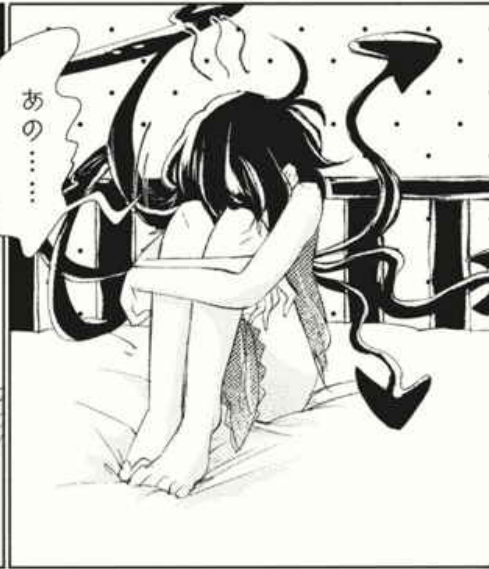
ぬ、ぬえは何も
悪いことしてない
じゃない……



誰かにムラサを
ずっと遠くにやられたら、
そいつを絶対に許さないッ!!!

私なら、

ほかん



嬉しいこと、
言ってくれ
ちやって……
そこまで、私のこと
想ってくれてたなんて





だから……
追いかけてきてくれて
本当に嬉しかった

ぬえのことも
とっても大切なの

聖のことも
大切だけど、

私ね、

グ、グ



え

え



ほんとうに
かわいい子

何も悪く
思わなくていいの



勘違いしちゃってて、
ごめんね

か、かわいく
ない……

私のほうこそ、

んう



あなたは、もう謝るの禁止



ひどいわっ



……こんなことしてたのに



明日から気兼ねなしに甘えてくれる?

私と一緒にいてくれる?

……わ、私……
ほんとうに、
いいのね



どうしても罰が欲しいなら、
これで我慢してね



嫌だったのなら、

ええ……

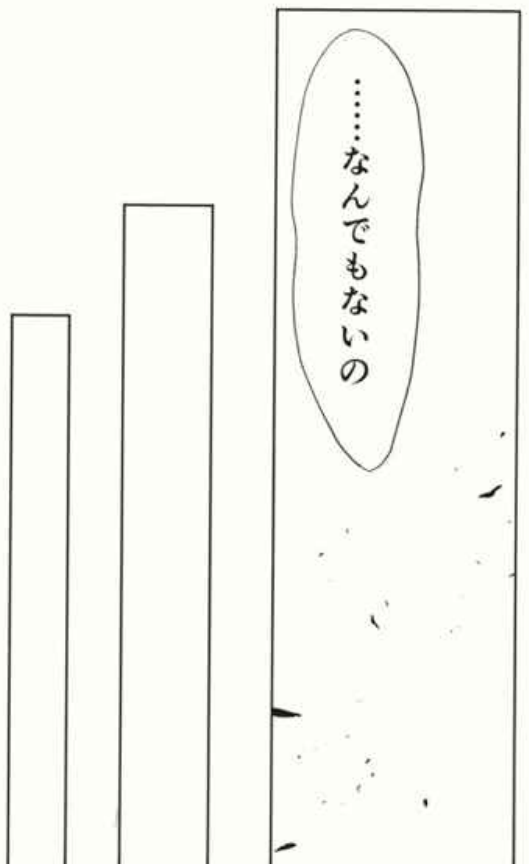


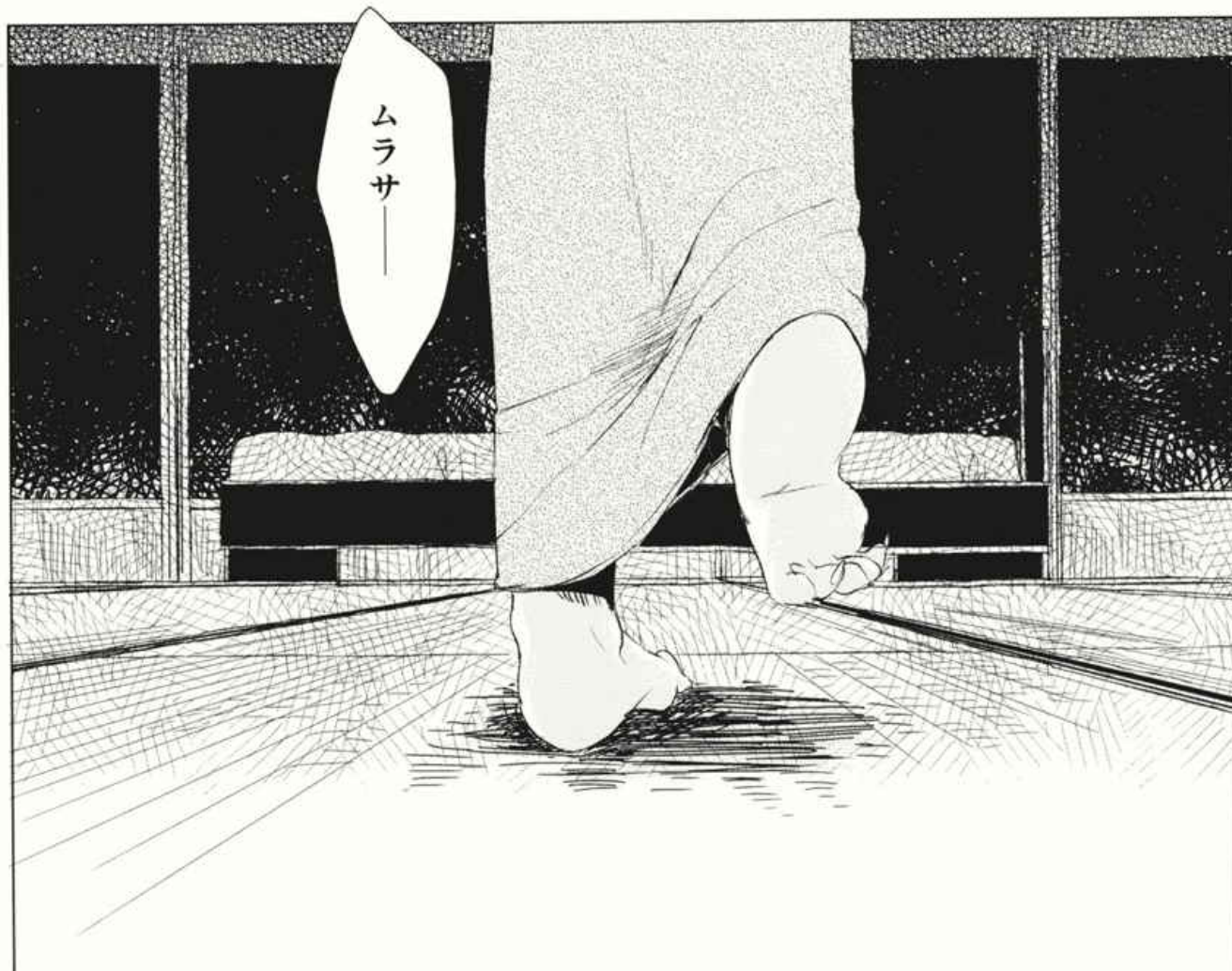
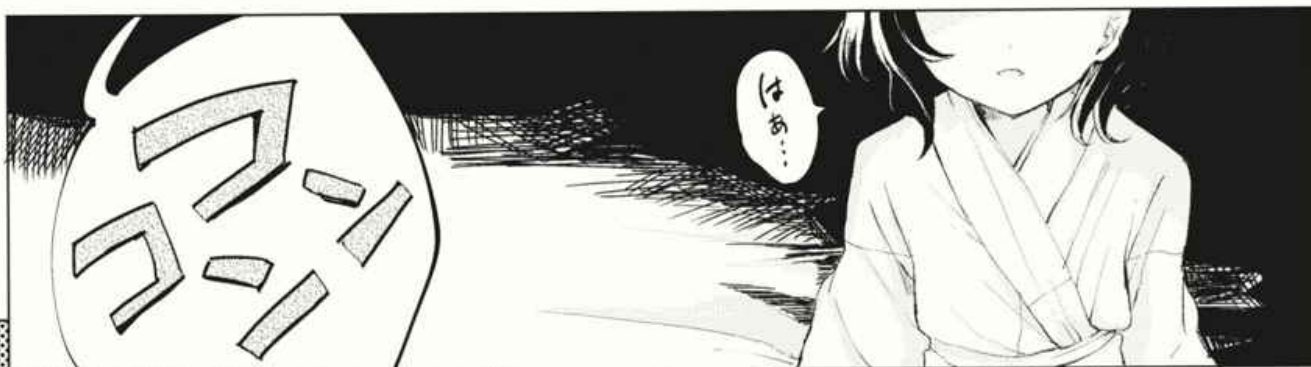
なんでもないの

いえ、



……









ぷは



嫌なんじゃなかったの？



どうしたの、
誘ってくるなんて



私が、
ぬえをこうやって
かわいにならないと
駄目になっちゃったの
分かってくれたのね……



……



もう、
慣れたっ

ぎゅ



すっきり首輪を
つけられちゃって……

あら、



わ、私も
ムラサが私のこと好きで、
してもらえるなら
むしろ嬉しいって、
思うの……



かわいい声を
聞かせて、

かわいい顔を
見させて

全部、
私だけのもの



私だけを、
かわいいがってね



……そのかわり、



我儘な子



いっぱい気持ちよく
してあげるから

思う存分
甘えてくれないと、
いやよ、ぬえ



愛して、
ください



……
わかった







いちばん
じやないのは
分かつてる、

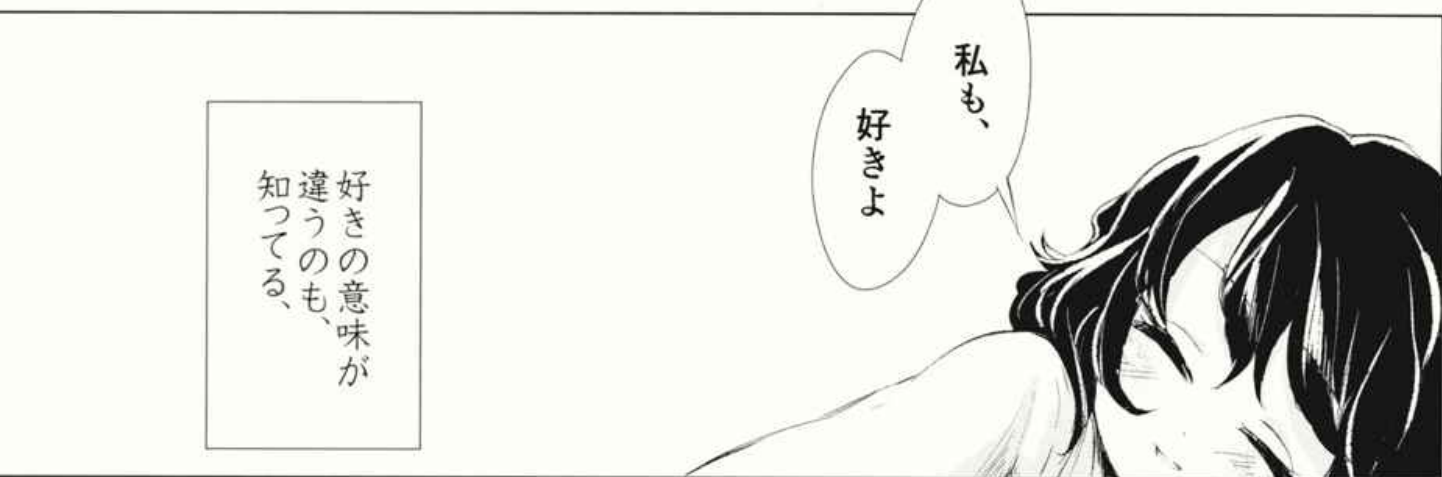


むらさ





好き、
大好き



私も、
好きよ

好きの意味が
違うのも、
知ってる、



ただの
愛玩動物かも
もしれない、

この想いを
利用されてる
だけかもしれない、
でも——

ずっと——
いっしょに
沈んでね

——
うん

——
幸せになつても、
いいよね？





反抗期？

反抗期が
終わったの
かなあ

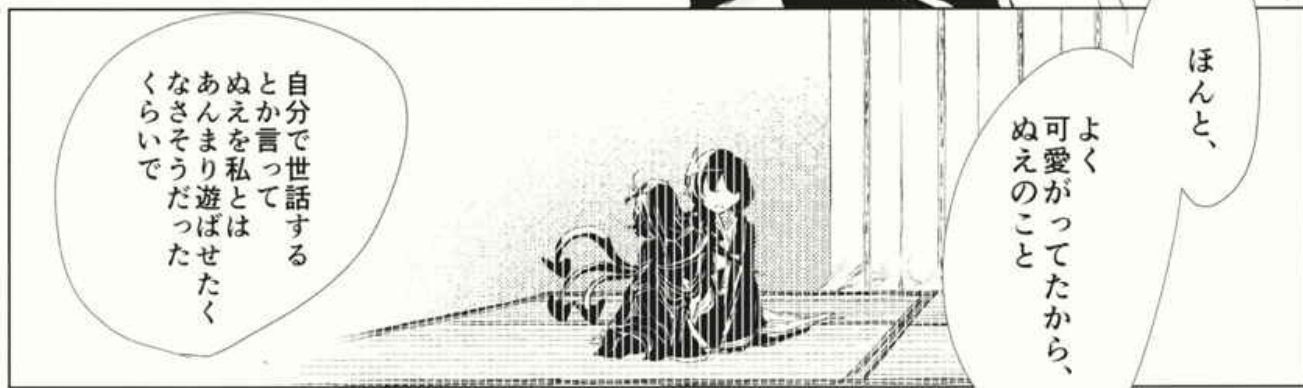


一輪と雲山と
ぬえのおかげね

残念だけど
主にぬえの
おかげだと
思いますわ
一輪 私の功績も
ありますわ



ムラサも、
千年前と比べると
随分元気に
なっちゃって……
嬉しいわ



自分で世話する
とか言ってる
ぬえを私とは
あんまり遊ばせたく
なさそうだった
くらいで

ほんと、
よく
可愛がってたから、
ぬえのこと



そうねえ……
あの子があそこまで
懐くのだから、
そうなのでしょうね



友達というか……

なんと
ムラサとぬえは……

でも、動物
みたいな言い方ね？

……

飼い主とペット？





—
続き、しちやおつか

おわり

アニマルセラピーは「わい」。

妖怪で恋を放つ少女といふく、迷宮をめぐりめぐりてくるフランドールスカールレットちゃんが、
秘蔵をアニマルとしてくる古明地こいしちゃんとかしかいないので、

妖怪の恋は噂おかしき特権なのかなどか思っていました。おてんば恋娘がいらっしやいました。

ま……まお曲名やし……。

『拘束具と枕む』

初版:2015/5/10(博羅神社例大祭12)

発行:むそな(スアリテスミ [<http://suiretsym.com/>])

印刷:丸正インキ様

原作:東方Project/ZUN(上海アリス幻楽団)

この作品は東方Projectの二次創作作品です。

本書の無断転載、アップロードを禁じます。

